

Dr.わーだーの養生記

vol.30「コロナにかかりたくない」

ここちいいん わだ とよふみ
心血医院 院長 和田 豊郁



今回は私の個人的な考えや想像です。

コロナは肺炎を起こすウイルスとして知られていますが、感染の仕組みから脳細胞にも侵入できるはずですが、しかし脳炎の報告はないことから、脳細胞ではウイルスは作られません。ただ脳にウイルスが入ると、脳の機能が普通ではなくなると思います。酔っ払ったような感じでしょうか。酔うとけだるくなったり寝てしまう人もいますが、過度に陽気になる、大声を出す、泣く、人の話に絡む、説教する、人の話を聞かない、乱暴になる...いろいろな人がいます。酔いならば一時的ですが、脳にコロナが入って人格が変わってしまうなら恐ろしいことです。脳に入り込んだコロナの遺伝子を駆除することはできるのでしょうか?ヘルペスウイルスは帯状疱疹を起こしたり脳症を起こしたりしますが完治は困難です。コロナにかかってからでは万事休す、なのかもしれませんから予防しなければ。

免疫力が十分な力を出せるよう、ワクチン、亜鉛、日光、そして運動。

■ 心血医院

久留米市日吉町14-68 / TEL.0942-65-5129

診療時間:〈月~土〉9:00~12:00、〈月火・木金〉19:00~22:00

休診日:日祝・盆・年末年始